

- ・ イオンタウン株式会社では、イオングループが策定・公表した2050年の脱炭素化を見据えた「イオン脱炭素ビジョン2050」に基づき、2030年までにすべてのショッピングセンターで使用する電力について、100%再生エネルギー導入を目指します。
- ・ 店舗屋上や駐車場への太陽光パネルやソーラーカーポートの設置のほか、購入電力の一部を非化石証書付電力化、高効率および省エネ機器の導入、空調運転の合理化、LED照明の導入などを進め、会社全体の炭素生産性を目標年度で46.1%向上させます。
- ・ そのほか「イオン ライトダウンキャンペーン」として、電力需給ひっ迫予想時期にショッピングセンターの屋外照明や周辺の照明を消灯し、消費電力を抑え積極的な節電対応に取り組んでいきます。

<事業適用計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2023年10月～2025年2月

2. 生産性向上目標

炭素生産性46.1%向上を目標とします。

3. 前向きな取組の内容

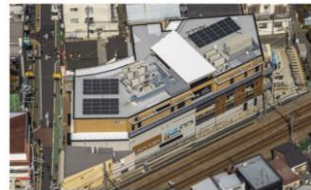
自家消費型太陽光パネルの設置、購入電力の一部非化石証書付電力化、高効率機器の導入、空調運転の合理化、LED照明の導入などを通じて、CO2排出量の削減を図ります。

4. 支援措置

・ 税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組の内容のイメージ>

【太陽光パネル・PPA導入事例 – イオンタウン湖南（左）・イオンタウン旗の台（右）】



【導入する店舗の外観 – イオンタウン防府（左）・イオンタウン富士南（右）】



【イオン ライトダウンキャンペーン（全店舗にて取組み）】



ライトダウン前



ライトダウン後